

サッカー競技の部

令和7年9月24日（水）25日（木）26日（金）予備日27日（土）、28日（日）、29日（月）

1 競技方法及び競技規則

- ① 今大会は、全試合 2025/26 日本サッカー協会競技規則に準じて行う。試合球は、5号手縫いとする。（ペレーダ、ミカサ）
- ② 出場校は合同チームを含む14チーム（日立10、太田1、北茨城・高萩3）によってトーナメント方式にて行う。
- ③ 1日目と2日目の試合時間は60分（30-10-30）とし、最終日のみ50分（25-10-25）とする。勝敗が決しないときは、2分間のインターバルを経てPK方式で決定する。また、天候や気温、湿度等によって飲水タイムもしくはクーリングブレイクを設ける。その場合は、試合前に両チームに通達する。
- ④ 1チームは、引率者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名の計21名以内とする。その他に、当該チームの学校長または代表者が認めた者がトレーナーとして指定された場所で待機し、必要な場所で処置をすることができる。
- ⑤ 選手の交代は、全ての試合において登録した7名の交代要員の中から交代が認められ、一度退いた競技者も再び出場することができる。交代回数に制限を設けない。交代は、1回戦から交代用紙を使用して行うこととする。ユニフォームと異なる2色のビブスを持参し、控えの選手は着用すること。
- ⑥ 今大会中に2度の警告を受けた者及び退場を命じられた者は、次の1試合に出場できない。ただし、規律・フェアプレイ委員会との協議の末、追加処分もあり得る。また、本大会において発生した出場停止処分（レッドカード）の未消化分は県大会まで継続する。
- ⑦ ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は正の他に、副として異なる色のユニフォームを参加申込書に記載し、必ず試合会場までその2着のユニフォームを携帯する。審判員と同一色、または類似色（黒・紺系）のユニフォームをシャツに用いることは出来ない。ただし、ショーツやストッキングの色は黒でも可とし、組み合わせも可とする。メーカーの都合によりユニフォームデザインが変更となり、選手数と同じ数のユニフォームが揃わない場合は、デザインの違うユニフォームの事前確認を必要とする。※多少のデザイン違いは認めるが、明らかに色が違う場合は認められないことがある。アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用し、F PとGKは別とする。アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。ソックスにテープまたはその他の素材のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。セパレートソックスを着用する場合は、すね当てを完全に覆い、くるぶしの上まで覆われる程度の丈とする。くるぶしの上まで覆われていない場合は、ソックスと同色のテープでまかななければいけないものとする。ユニフォーム決定については、対戦カードが確定しているものについては原則として大会前に決定しておく。その他の規定については県大会に準じる。
- ⑧ 大会当日、監督者会議の前までに「参加申込書」を本部に提出すること。また、試合ごと先発の選手を明記し、「メンバー提出用紙」を3部本部に提出すること。（3部：本部・審判・相手チーム）
- ⑨ 開会式は実施しない。顧問が生徒に会場使用上の注意及び競技方法等を確実に伝える。（別紙参照）
- ⑩ 試合が終了したチームは速やかに解散することとする。（本部への挨拶はしない。）
- ⑪ すべての1試合目、決勝前のピッチ内アップは、試合開始30分前から10分間フィールドでのアップを可とする。2試合目以降のチームは、前試合のハーフタイムとキックオフ7分前整列しセレモニー以降の、ピッチ内アップを可とする。

2 会 場 折笠スポーツ広場 [0294-43-2397](tel:0294-43-2397)、会瀬サッカー場 [0294-36-0088](tel:0294-36-0088)